

清瀬市教育委員会 殿

清瀬市立清瀬中学校
校長 佐藤 明子

令和6年度教育課程

このことについて、清瀬市立学校の管理運営に関する規則に基づき、特別支援学級（自閉症・情緒障害学級）の教育課程を下記のとおり届け出ます。

記

1 教育目標

（1）学校の教育目標及び育成を図る資質・能力

人間尊重を基本理念に、国際的視野にたち、平和を愛する社会人の形成をめざして、

- ◎ 正しい判断力と粘りつよい実践力をもった生徒を育てる
- 健やかな身体と豊かな情操をもった生徒を育てる
- 高い知性とたくましい創造力をもった生徒を育てる

生徒・教職員が安全で安心して過ごす学校の構築を最重要課題とし、清瀬市総合教育計画「マスタープラン」や持続可能な社会づくりに向けた教育を確実に推進するため、教育目標の具現化を通して未来社会に通用する人としての資質・能力を育む。令和6年度は「正しい判断力と粘りつよい実践力をもった生徒を育てる」に重点を置き、全教育活動を通してその実現を図る。自閉症・情緒障害固定学級においては生徒の特性に応じた配慮と援助を行い、指導方法を工夫して自立活動の充実を図り生徒の社会性を高める。

（2）特別支援学級の教育目標

全教育活動において、健康な心身と考える力や社会性を伸ばし、自分の行動を自分で決定する力を育てる。目標達成のために、障害の状態を考慮し将来、自立した社会生活を送ることができる力を育成する。各活動のねらいに即して体験的な学習活動の充実を図り、自己理解を深めるとともに望ましい勤労観と職業観を育て、主体的に進路を選択することができる生徒を育てる。通常の学級や地域との交流に重点を置き、他者との意思疎通への苦手意識を克服できるよう、段階的な取組により興味や関心を広げ、大きな集団への参加を目標とする。

（3）学校、学級の教育目標を達成するための基本方針

- 生徒の障害の特性を理解し状態を適切に把握するとともに、特性に応じた指導や配慮を行う。障害の程度によりグループ編成を行い、生徒一人一人への個別の配慮を行いながら指導の工夫を行う。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け一人1台タブレット端末を有効活用する。
- キャリア教育を重視し、将来の職業生活に必要な基礎的な知識や技能や態度が育つよう指導する。中学校卒業後の生活に関係する内容を計画し、体験的な活動を通して自ら進路選択できるようにする。
- 特別支援教育を推進するために、校内委員会の組織的機能を十分に発揮させるとともに、関係機関等との連携を密に行い効果的な指導を行う。
- 個別指導計画を作成し、一人一人の実態等に応じた具体的な指導目標及び指導内容を設定する。感覚の過敏性等への配慮、視聴覚的な支援、固執への配慮等、指導上の工夫や環境の設定等に留意する。学期ごとの評価に基づき、指導の改善を行うとともに指導内容の充実を図る。
- 地域の教育力を学校教育に生かすとともに、学校・保護者・地域がそれぞれのよさを発揮できる三位一体となった教育活動を展開する。